

春の湿原観察会開催



今年、県道南側部分全体の野焼きを行ったこともあって、広い湿原を見渡せるようになり、かつての猪の瀬戸湿原が復活しているとの声を耳にします。

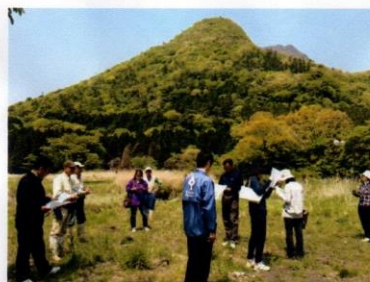
5月の中旬には100名をこえる大阪の修学旅行生の自然観察が予定されていましたが、残念ながら日程の都合で未実施となってしまいました。

しかし、5月6日には大分県植物研究会と保全の会の合同観察会が実施され好天にも恵まれて総勢42名が春の湿原植物を丁寧に観察して記録をとりました。また、5月13日には(株)城島高原の職員、5月25日には別府大学の学生が現地研修を行い、湿原景観のすばらしさ、生物多様性について研修を深めました。

参加者は改めて猪の瀬戸湿原が貴重な湿原であることを認識したようです。



別府大学生の湿原観察学習会



城島高原ホテル職員の湿原観察研修会



大分県植物研究会と合同の猪の瀬戸湿原観察会